

株式会社 GSIクレオス

2023年3月期 第2四半期

決算説明会

2022年11月28日



- 2023年3月期 第2四半期決算概要 3
- 2023年3月期 業績予想 12
- 中期経営計画の進捗状況 18
- 参考資料 34

2023年3月期 第2四半期決算概要



Point

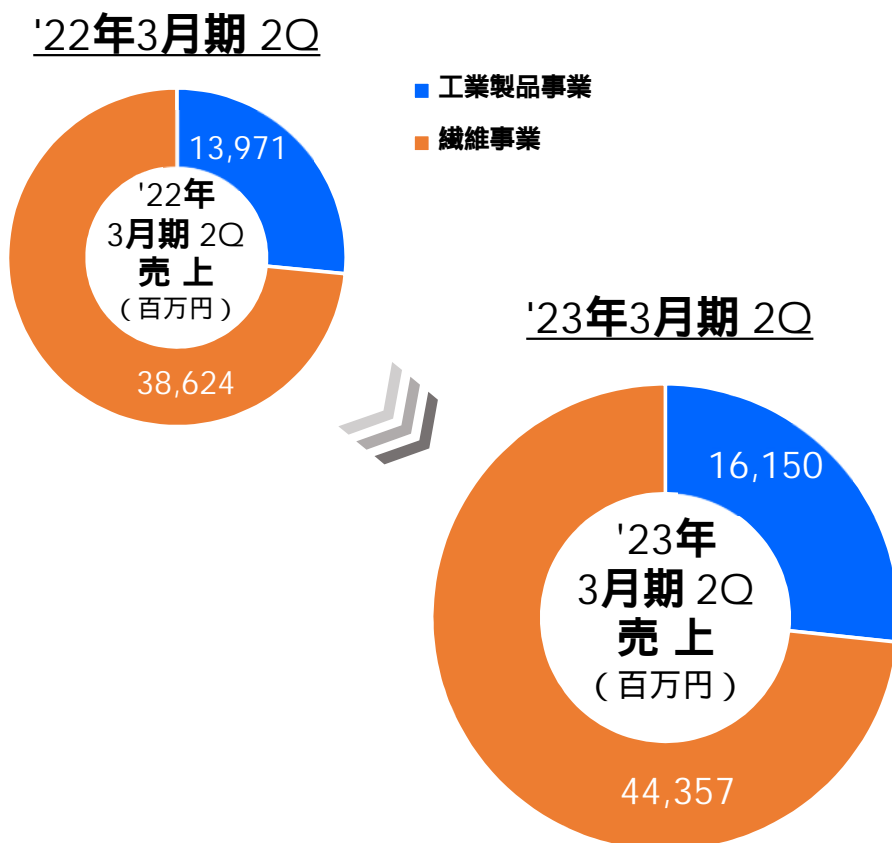
原材料高、急激な円安の影響を受けながらも増収となり、前年同期並みの四半期純利益を確保。

- ・ 繊維事業：前年同期比で増収減益。アウトター関連商材が好調に推移するも、インナー製品が利益面で下振れ。
- ・ 工業製品事業：前年同期比で増収増益。ホビー関連商材がやや停滞したものの、半導体関連商材でカバー。
- ・ 持分法による投資利益などにより、経常利益は増益となり、四半期純利益も前年同期並みで着地。

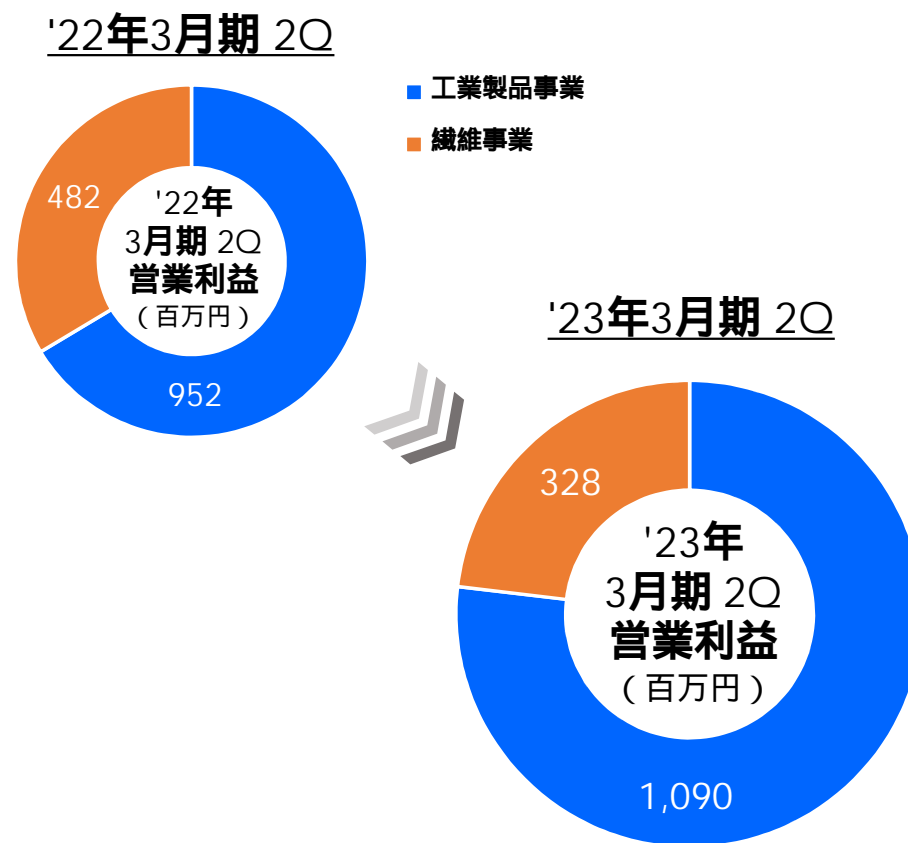
経営成績（百万円）	'22年3月期 2Q	'23年3月期 2Q	前年同期比 （金額）	前年同期比 （％）
売上高	52,595	60,508	<u>7,912</u>	<u>15.0</u>
売上総利益	6,549	6,868	<u>318</u>	<u>4.9</u>
販売費及び一般管理費	5,348	5,745	397	7.4
営業利益	1,201	1,123	78	6.5
営業利益率（％）	2.3	1.9	0.4pt	-
経常利益	1,207	1,281	<u>74</u>	<u>6.2</u>
親会社株主に帰属する四半期純利益	935	909	25	2.7

事業別業績（前年同期比）

事業別売上高



事業別営業利益



セグメント別業績（前年同期比）売上高

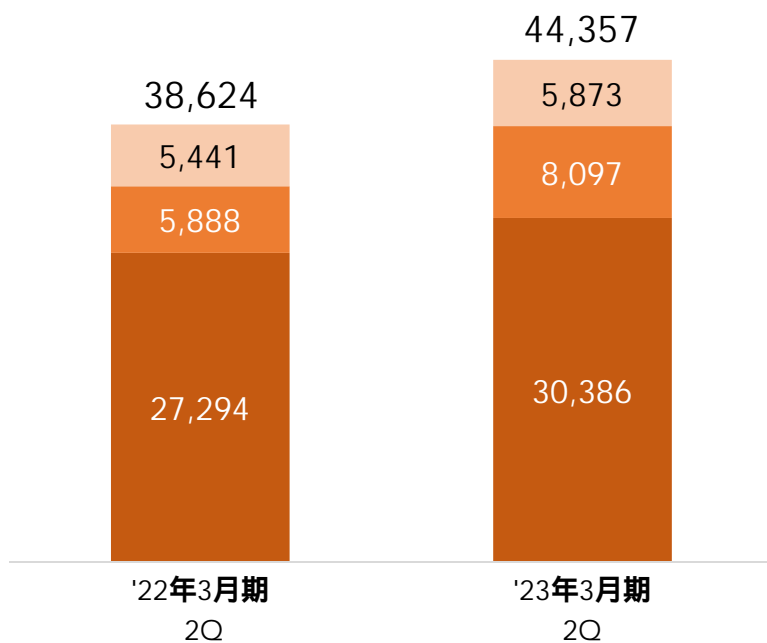
全社売上高

'22年3月期 2Q 52,595百万円 → '23年3月期 2Q 60,508百万円

繊維事業

(百万円)

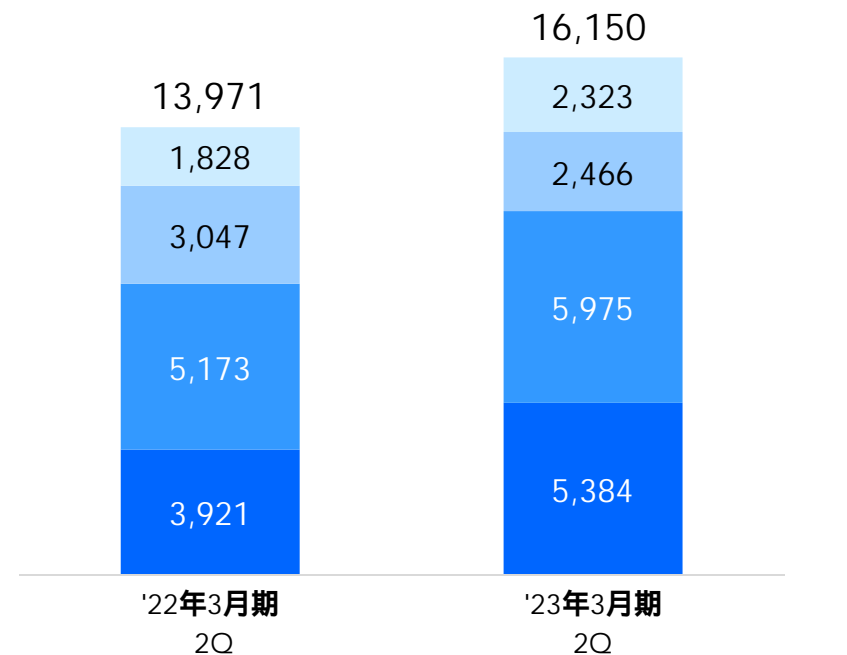
■ ファイバー ■ アウター ■ インナー



工業製品事業

(百万円)

■ セミコンダクター ■ ホビー&ライフ ■ ケミカル ■ マシナリー&イクイップメント



セグメント別業績（前年同期比） 営業利益

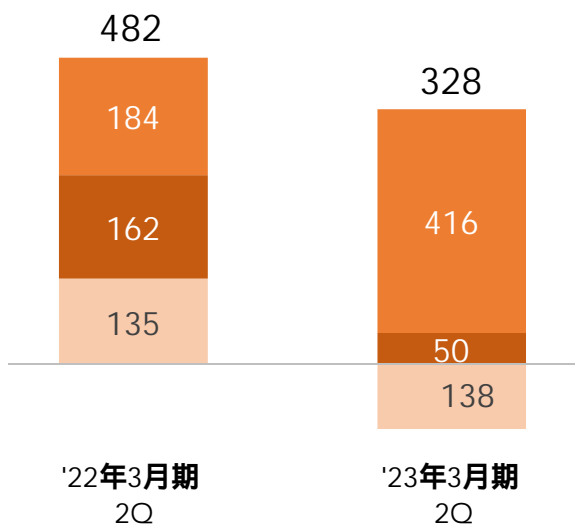
全社営業利益

'22年3月期 2Q 1,201百万円 → '23年3月期 2Q 1,123百万円

繊維事業

(百万円)

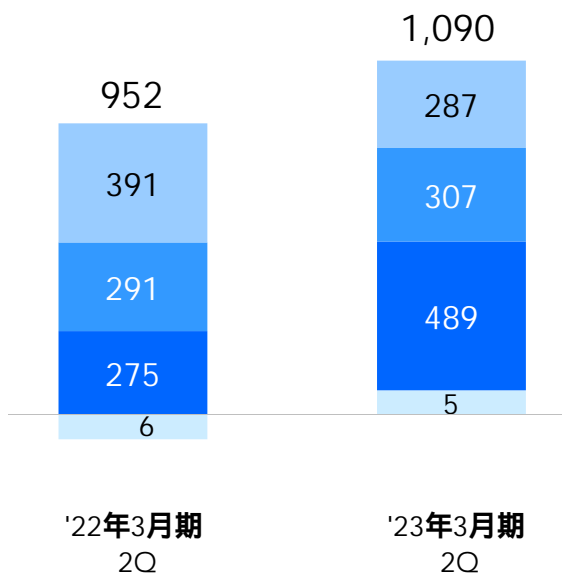
■ インナー ■ ファイバー ■ アウター



工業製品事業

(百万円)

■ ホビー＆ライフ
■ ケミカル
■ セミコンダクター
■ マシナリー＆イクイップメント

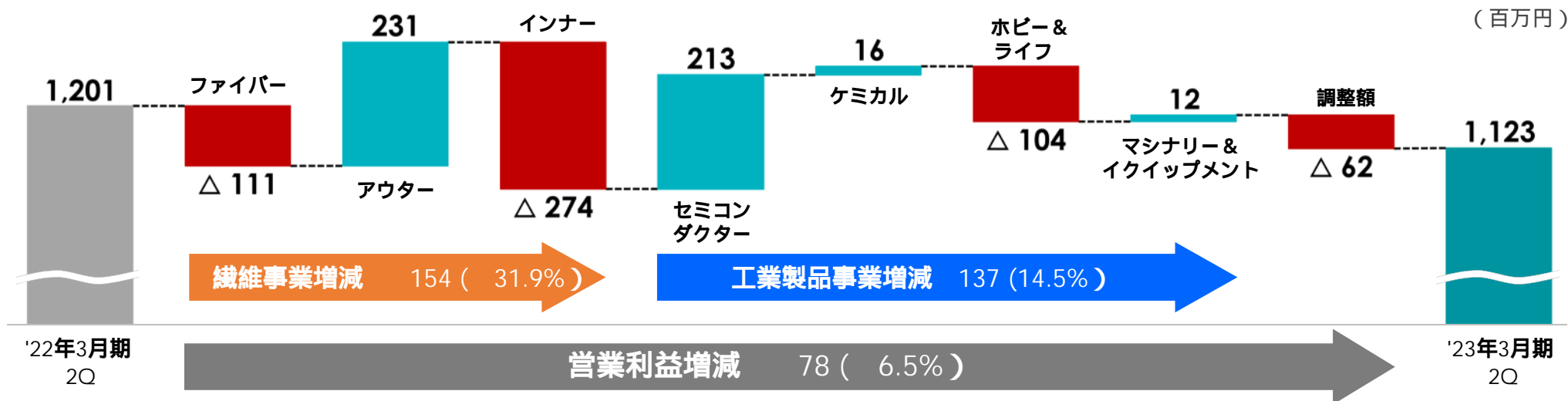


調整額

(百万円)



セグメント別業績（前年同期比） 営業利益増減要因



主な増減要因

繊維事業	
下振れ：アウトター関連商材が好調も、インナー製品などが低調	
ファイバー	原材料価格の高騰への対応に時間を要し減少。
アウトター	製品のOEM・ODM取引や欧米アパレル向け生地の輸出取引が、個人消費の持ち直しを背景に増加。
インナー	売上高は回復基調も、原材料価格の高騰や急激な円安の影響を吸収しきれず減少。

工業製品事業	
堅調：ホビー関連商材がやや停滞したものの、半導体関連商材でカバー	
セミコンダクター	半導体関連部材の取引が好調に推移。前期に連結子会社化したGSI Creos Technology (China) Co., Ltd.も寄与。
ケミカル	需要増を背景に、機能性樹脂・フィルムの取引が国内で伸長し、塗料原料の取引も海外での拡販が着実に進む。
ホビー&ライフ	ホビー関連商材の取引が、巣ごもり需要の落ち着きや中国ロックダウンの影響により減少。
マシナリー&イクイップメント	複合材関連の機械および部品の取引が増加。

連結貸借対照表

Point

【総資産】売上債権の増加などにより増加。

【負債】仕入債務の増加などにより増加。

【純資産】為替換算調整勘定の増加などにより増加。

経営成績 (百万円)	前期末 (2022年3月末)	'23年3月期 2Q末 (2022年9月末)	前期末比
総資産	60,929	68,746	7,816
負債 (ネット有利子負債)	36,416 4,477	43,236 6,874	6,820 2,397
純資産	24,512	25,509	996
自己資本	24,512	25,509	996
自己資本比率	40.2%	37.1%	3.1pt

キャッシュ・フローの状況

Point

【営業活動によるCF】売上債権の増加などにより1,364百万円の支出。

【投資活動によるCF】貸付金の回収による収入などにより266百万円の収入。

【財務活動によるCF】短期借入金の増加などにより1,266百万円の収入。

経営成績 (百万円)	'22年3月期 2Q	'23年3月期 2Q	前年同期比
営業活動によるCF	3,810	1,364	2,446
投資活動によるCF	481	266	214
(フリー・キャッシュ・フロー)	3,329	1,097	2,231
財務活動によるCF	841	1,266	2,107
換算差額	274	160	113
現金・現金同等物の増減額	3,896	329	4,226

海外売上高

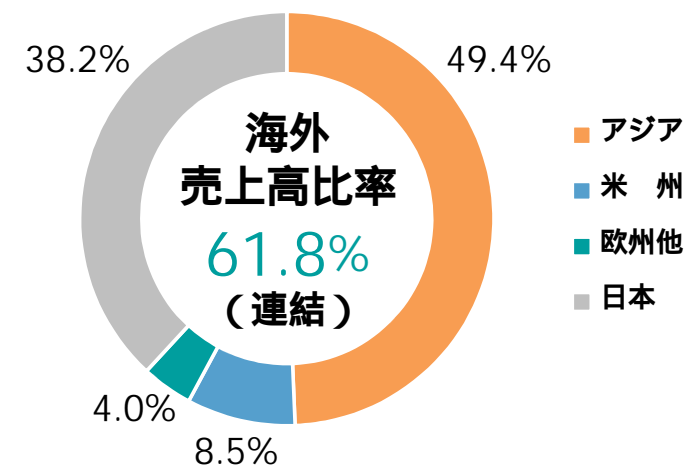
Point

各地域の売上高が増加。
海外売上高比率は高水準を維持。

(百万円)

地域	'22年3月期 2Q		'23年3月期 2Q		前年同期比	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (pt)
アジア	25,382	48.3	29,873	49.4	4,490	1.1pt
米州	4,325	8.2	5,114	8.5	788	0.3pt
欧州他	1,743	3.3	2,412	4.0	668	0.7pt
海外売上高	31,451	59.8	37,400	61.8	5,948	2.0pt

'23年3月期 2Q 地域別売上高構成比



アジア：主に中国、香港 **米州**：主にアメリカ、ブラジル

2023年3月期 業績予想



事業に影響する外部環境要因

対応策

不安定な世界経済

- 米中貿易摩擦の悪化
- 原材料・物流コスト高
- 為替の変動

- グローバル拠点の連携による柔軟な対応
- 適正利益の確保に向けた価格転嫁の強化
- 為替リスクヘッジの徹底

コロナによる社会変容

- 消費志向・動向の変化
- 健康への意識の高まり
- サステナビリティへの対応要請

- ニューノーマル、サステナブルに適う新規商材の展開
- メディカル事業の深耕・業容拡大
- ESG経営の推進

● 中国事業構造改革の推進

事業効率化の実現 現地法人等の各拠点の再編
各拠点の機能拡充 中国内需の取り込み
繊維事業と半導体事業の拡大 適格な人材の配置

● 社会課題解決に向けたサステナブルビジネスの推進

サステナブル原系、生地 メーカーとの協業により製品化を推進
医療介護製品 関係会社の素材加工技術を活用した製品開発
生分解性樹脂 農業用途の市場シェア拡大に注力
有機半導体事業 産学連携による実用化の推進

● 積極的なM&Aの展開

2023年3月期業績予想

Point

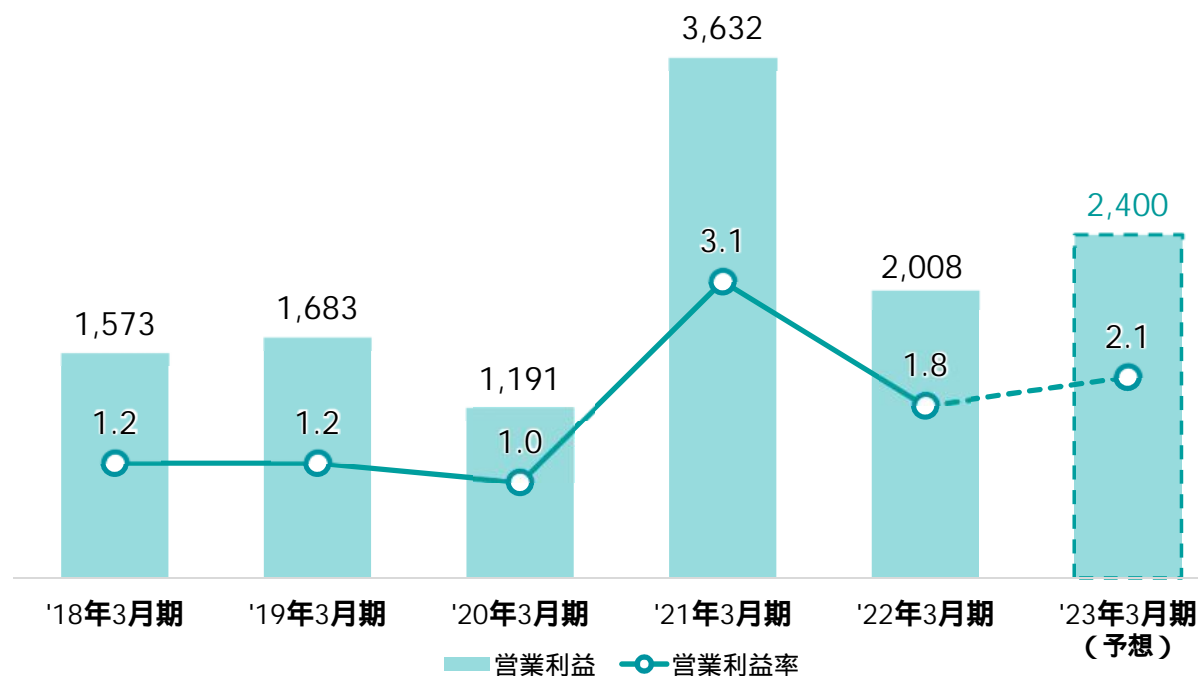
期初（5/13）公表予想から変更なし。

厳しい事業環境の中、原価高騰分の価格調整をさらに進めることから、現時点において公表予想通りの着地を見込む。

（百万円）

項目	'23年3月期 予想
売上高	117,000
営業利益	2,400
経常利益	2,400
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,700

営業利益および営業利益率の推移



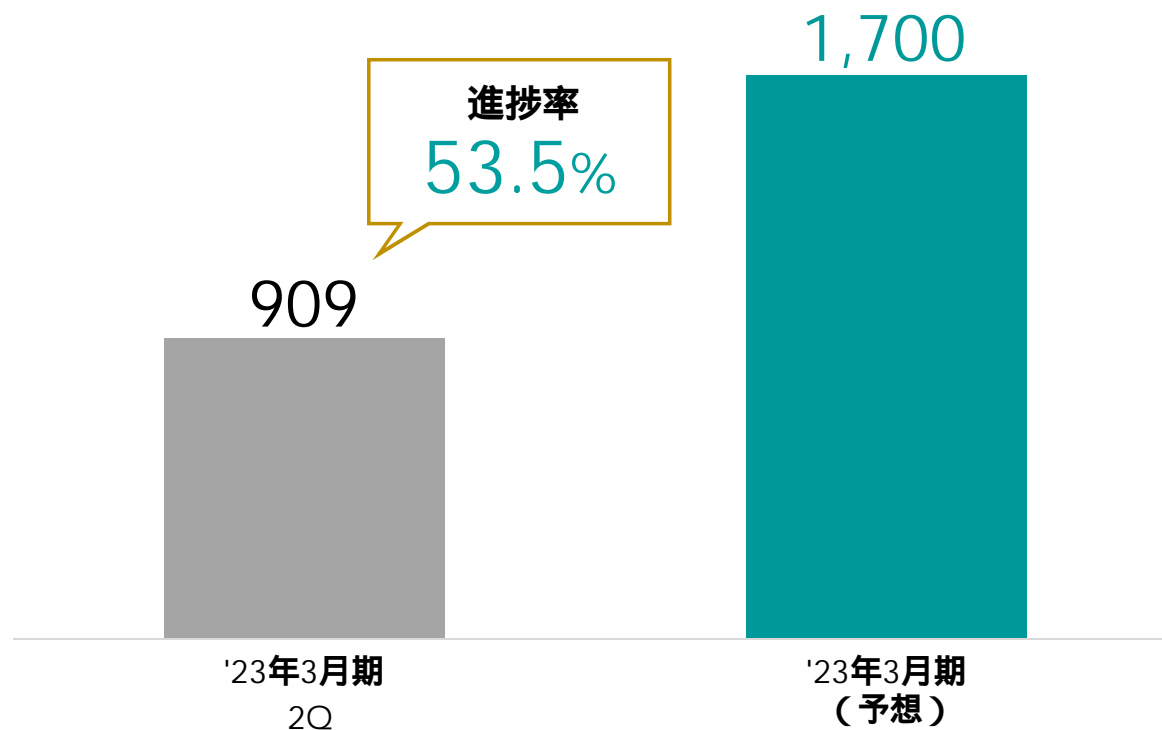
Point

期初公表の純利益（親会社株主に帰属する当期純利益）予想の進捗率：53.5%

（百万円）

項目	'23年3月期 予想
売上高	117,000
営業利益	2,400
経常利益	2,400
親会社株主に帰属 する当期純利益	<u>1,700</u>

親会社株主に帰属する当期純利益（予想）の進捗状況



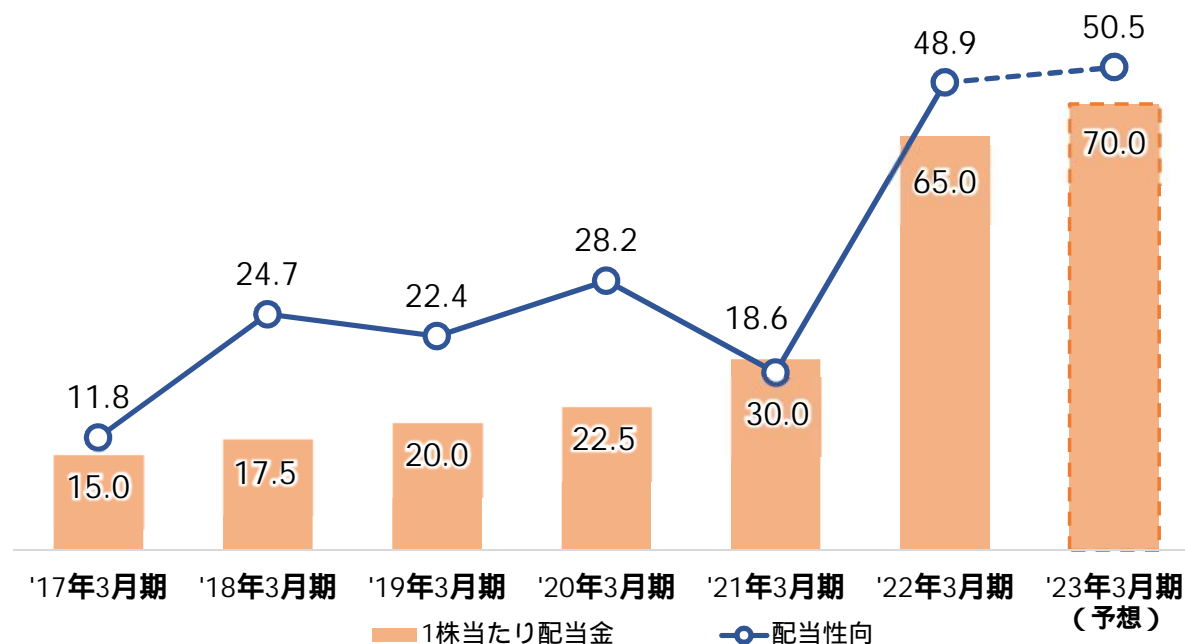
2023年3月期業績予想

Point

期末配当金：期初（5/13）公表予想から変更なし。
7期連続増配予定

項目	'23年3月期 予想
1株当たり配当金	70.0円
配当性向	50.5%

1株当たり配当金および配当性向の推移



2021年4月1日に株式分割（1株 2株）を実施。2017年3月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金を算出。

中期経営計画の進捗状況



次代の生活品質を高める
事業の創造者として
人びとの幸せを実現する

2001年 企業理念の中に「存在理念」を制定

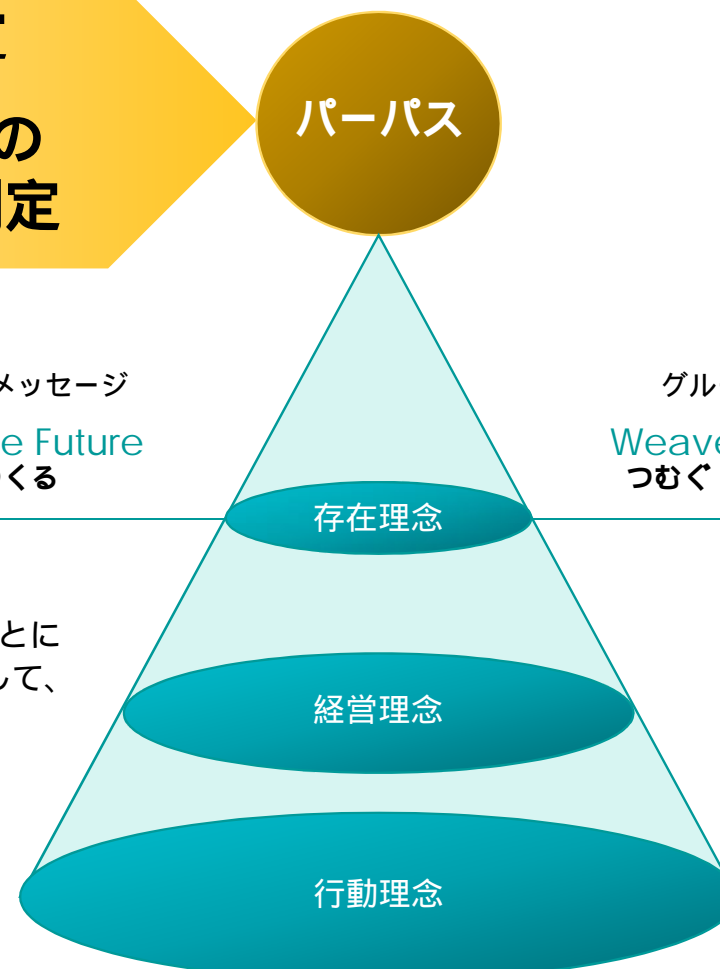
2022年 「存在理念」にもとづき、企業理念の最上位概念となる「パーパス」を制定

存在理念

私たちの存在意義は、新たな価値を発見し、社会的な価値へと結晶させることにあります。**次代の生活品質を追求するビジネス・プロデューサー**として、独自にして公益にかなう最高水準のサービスを創造し、G S Iクレオスと価値を共創する**すべての当事者の幸せを実現します。**

コーポレートメッセージ
Produce the Future
次代をつくる

グループスローガン
Weave a New Story
つむぐ・つなぐ・つなげる



ビジョン

事業創造型商社として
ニッチな分野で新しい価値を提供し、
サステナブルな社会づくりに貢献する

2つの挑戦

過去最高純利益の更新

資本市場からの
信頼度のさらなる向上

株主還元

3つの重点施策

サステナブル事業分野への
積極投資

人材の充実と
新しい働き方の推進

実効性の高い
ガバナンス体制の強化

“GSI CONNECT 2024” ~つむぐ・つなぐ・つなげる~

新たなストーリーをつむぐために、繊維と工業製品のConnect、グループ各社のConnect、ビジネスパートナーとのConnect、地域・社会とのConnectにより当社グループの強みを発揮しながら、3年間で当社グループをさらに進化・成長させて、新たなステージへConnectする。

中期経営計画 “GSI CONNECT 2024” 業績目標

経営成績 (百万円)	'23年3月期 業績予想	'23年3月期 2Q	進捗率	2025年3月期 目標
売上高	117,000	60,508	51.7%	135,000
繊維事業	85,000	44,357	52.2%	95,000
工業製品事業	32,000	16,150	50.5%	40,000
営業利益	2,400	1,123	46.8%	3,500
経常利益	2,400	1,281	53.4%	3,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,700	909	53.5%	2,200

ファイバー

事業内容

- 原糸、繊維原料の国内外販売
- 原糸、繊維原料の輸出入
- メディカル繊維原料・製品の製造加工、販売

事業環境・市場機会

環境問題対応ニーズ、健康維持対応ニーズの高まりによる繊維原材料の多様化

強み・収益の源泉

- 国内外大手メーカーとの強固な関係による原材料調達力
- グループ工場による高品質、低コストの撚糸加工力
- 機能性加工系の開発力

連携する関係会社

GSIマルロンテックス(株)、GSI香港社、GSI中国社、GSI深圳社

アウター

事業内容

- アパレル製品のOEM、ODM
- テキスタイル・アパレル製品の卸売り、輸出入
- 自社ブランド製品の販売

事業環境・市場機会

新しいライフスタイルへの対応商品ニーズの高まり（サステナブル、アウトドア、スポーツ、健康促進）

強み・収益の源泉

- 多数の海外提携工場を活用したきめ細かなニーズに対応可能な企画生産力
- 海外大手アパレルから評価される提案力
- 国内外大手メーカーからの商品調達力

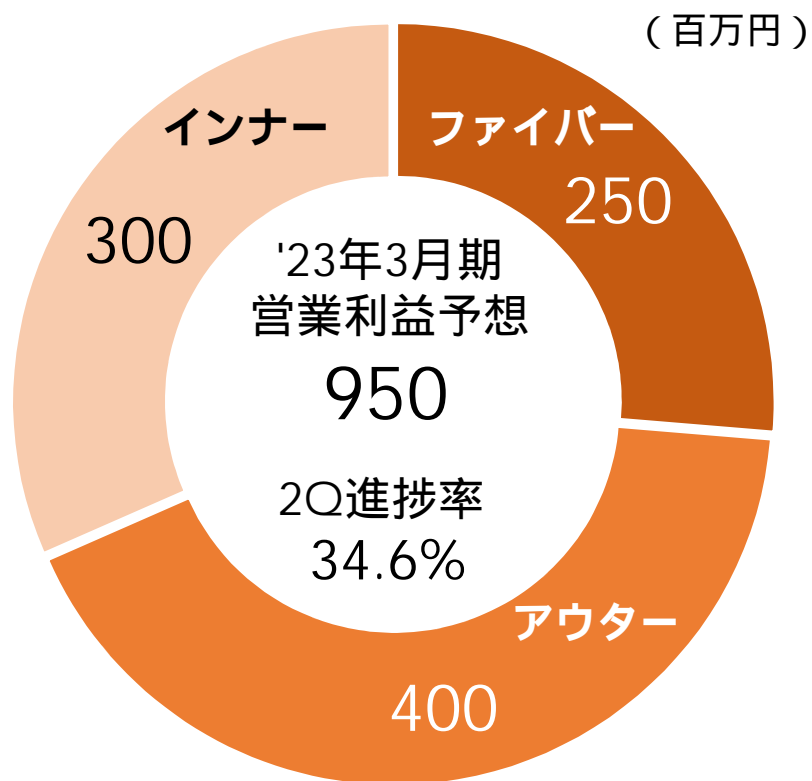
連携する関係会社

(株)クレオスアパレル、GSIアメリカ社

インナー

事業内容	<ul style="list-style-type: none">● インナー製品のOEM、ODM、販売、輸出入● インナー用生地の開発、販売● 自社ブランド製品の販売
事業環境・市場機会	機能性・ファッション性によるインナー製品 ニーズの多様化（サステナブル、美容・健康促進）
強み・収益の源泉	<ul style="list-style-type: none">● 多数の海外提携工場を活用したきめ細かな ニーズに対応可能な企画生産力● 自社ブランド品の企画・開発・提案力
連携する関係会社	(株)いずみ、(株)GSIアブロス、日神工業(株)、 (株)ソフィア、GSI中国社

繊維事業



下半期の主な取り組み

ファイバー

- ・原料高騰分の価格調整の推進
- ・素材加工力を活かした独自性・機能性の高い商材の展開による利益率の向上

アウター

- ・アパレル向け生地の海外需要の取り込み
- ・企画提案力の強化によるOEM・ODM事業の拡大

インナー

- ・原料高騰分の価格調整の推進
- ・企画提案力の強化によるOEM・ODM事業の拡大

セミコンダクター

事業内容

- 最先端半導体製造装置用部材の輸出入
- 汎用性半導体部材の輸出入
- 半導体製造設備用の部材の輸出入

事業環境・市場機会

次世代デバイス対応の半導体需要の増加、半導体製造キャパ拡大による設備投資意欲の高まり

強み・収益の源泉

- 日米中の事業一元管理体制
- 国内・海外大手有力材料・機器メーカーの販売代理権

連携する関係会社

GSIアメリカ社、GSIテクノロジー（中国）社

ケミカル

事業内容

- 塗料原料、その他化成品の輸出入
- 機能性プラスチック樹脂の輸入
- フィルムの国内販売
- カーボンナノチューブの開発・製造・販売

事業環境・市場機会

環境規制強化、環境保護意識の高まりによる生分解性プラ、リサイクル品、人体に安全な化成品の需要増加

強み・収益の源泉

- 汎用品から機能性品まで多様な商材に対応
- 国内、海外の大手有力メーカーとの連携による事業展開体制

連携する関係会社

GSIアメリカ社、GSIブラジル社、GSIヨーロッパ社、GSI中国社、GSI韓国社

ホビー&ライフ

事業内容

- ホビー関連商材の国内・海外販売
- 化粧品原料の輸入
- 化粧品原料の国内販売
- 健康食品の国内販売

事業環境・市場機会

新しいライフスタイルへの対応商品ニーズの高まり

強み・収益の源泉

- 国内、海外市場で認知されている自社ブランド品による高シェア

連携する関係会社

GSIアメリカ社、GSIヨーロッパ社、GSI中国社、GSI韓国社

マシナリー&イクイップメント

事業内容

- 産業機械・理化学機器の輸入販売
- 産業機械・理化学機器のメンテナンス
- 複合材成形設備・材料の輸入販売
- 炭素繊維強化樹脂の開発・製造・販売

事業環境・市場機会

環境規制対応に向けた設備投資意欲の高まり、新技術への対応ニーズの増加

強み・収益の源泉

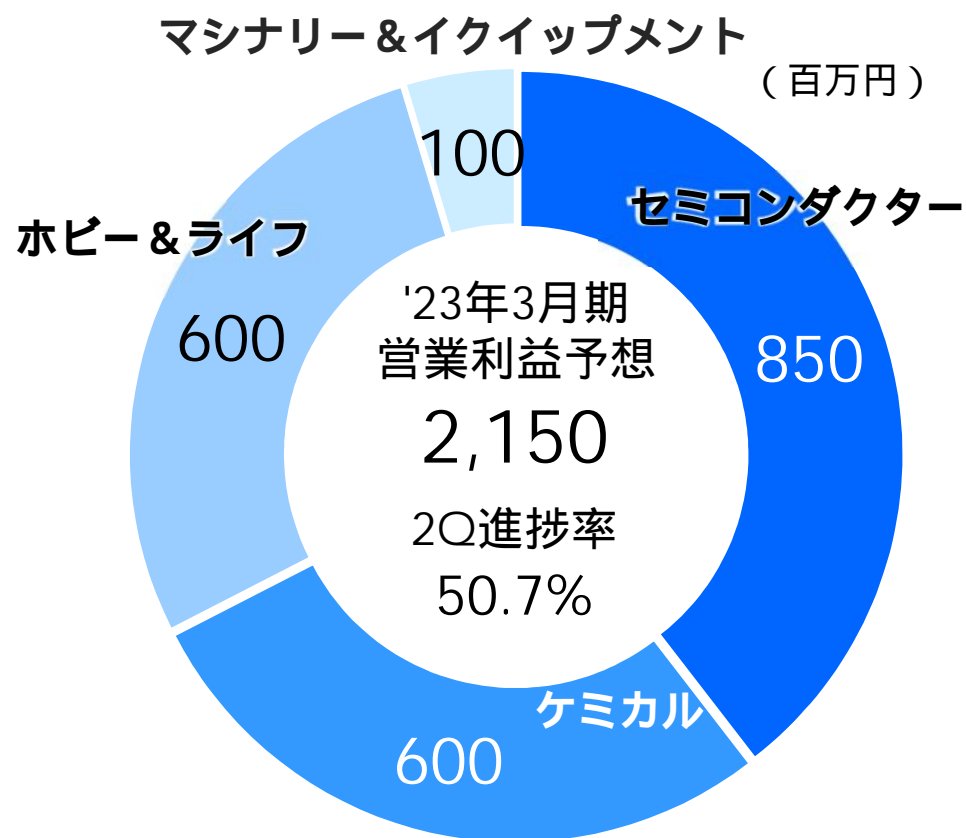
- 各分野の国内・海外大手有力メーカーとの提携による最先端機器の調達力とメンテナンス、材料開発対応力

連携する関係会社

(株)セントラル科学貿易、GSIヨーロッパ社

セグメント別業績予想

工業製品事業



下半期の主な取り組み

セミコンダクター

- ・供給・販売ルート確保
- ・日本製半導体関連商材の海外拡販

ケミカル

- ・グループ連携による塗料原料の海外需要の取り込み
- ・機能性樹脂・フィルムの拡販

ホビー&ライフ

- ・自社ブランド品の海外需要の取り込み
- ・化粧品市場の回復を踏まえ、グループ連携により化粧品原料の国内外での販売を強化

マシナリー&イクイップメント

- ・大手金型メーカーとの連携により、複合材料成形設備・部材の販売を強化
- ・輸入ビジネスにおける価格調整の推進

サステナブル事業 3分野への取り組み

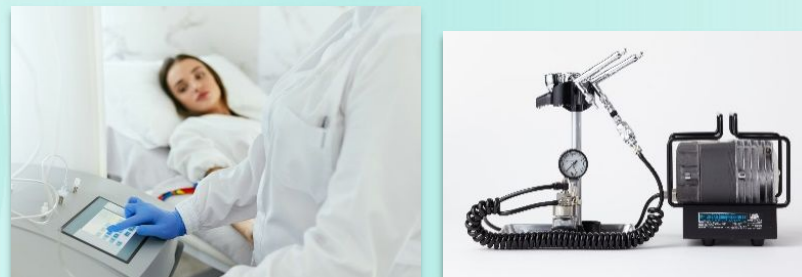
「環境関連事業」、「生活・健康関連事業」、「エネルギー関連事業」に注力し、企業価値の向上を図るとともに、サステナブルな社会づくりに貢献する。

環境関連事業



サステナブル原料・製品、
生分解性樹脂など

生活・健康関連事業



メディカル繊維製品、
人工透析関連ビジネス、
ホビー関連ビジネスなど

エネルギー関連事業



軽量化ビジネス、無機・
有機半導体関連ビジネス
など

生活・健康関連事業

食品用天然着色料加工工場へ出資



原料となるバタフライピー

健康意識の向上や合成添加物に対する懸念の高まりにより天然素材が注目されるなか、ハーブティーのみならず、色鮮やかな天然食品着色料として利用されるバタフライピーに着目。安全かつ品質の良いバタフライピー粉末パウダーの安定供給に向け、食品原料開発や生産を手掛ける日本企業がタイに立ち上げた加工工場に出資。2022年12月に稼働開始予定。

バタフライピーの市場規模予測

(米ドル)

1.02億

1.6億

今後8年間で
約1.5倍に拡大

FY2021

FY2029

出典：Data Bridge Market Research

商流（当社のバリューチェーン）



エネルギー関連事業

再生可能エネルギー有機太陽電池(OPV)の開発

Organic Photovoltaic



住宅(窓)

潜在市場規模(国内)
100万戸、500億円



携帯機器・IoTセンサ

携帯用充電器市場(国内)
200億円

共同開発

INOEL

有機エレクトロニクスイノベーションセンター

山形大学
Yamagata University

GSI Creos

Brilliant Matters



車載(ルーフ・ボディ)

潜在市場規模(国内)
50万台、1,000億円



屋外(建材一体型)

BIPV市場予測(世界)
1,900億円

当社は山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター（INOEL）と共にシースルー型OPVを用いた「発電する窓」の研究開発を実施中。

発電する窓は、脱CO₂社会の実現に向けた建築物のZEB（Net Zero Energy Building）化を進めるための切り札とされる。

今後市場ニーズを捉えながら、様々な用途展開に注力していく。

薄く、軽く、透明な太陽電池による
「発電する窓」の実現へ！

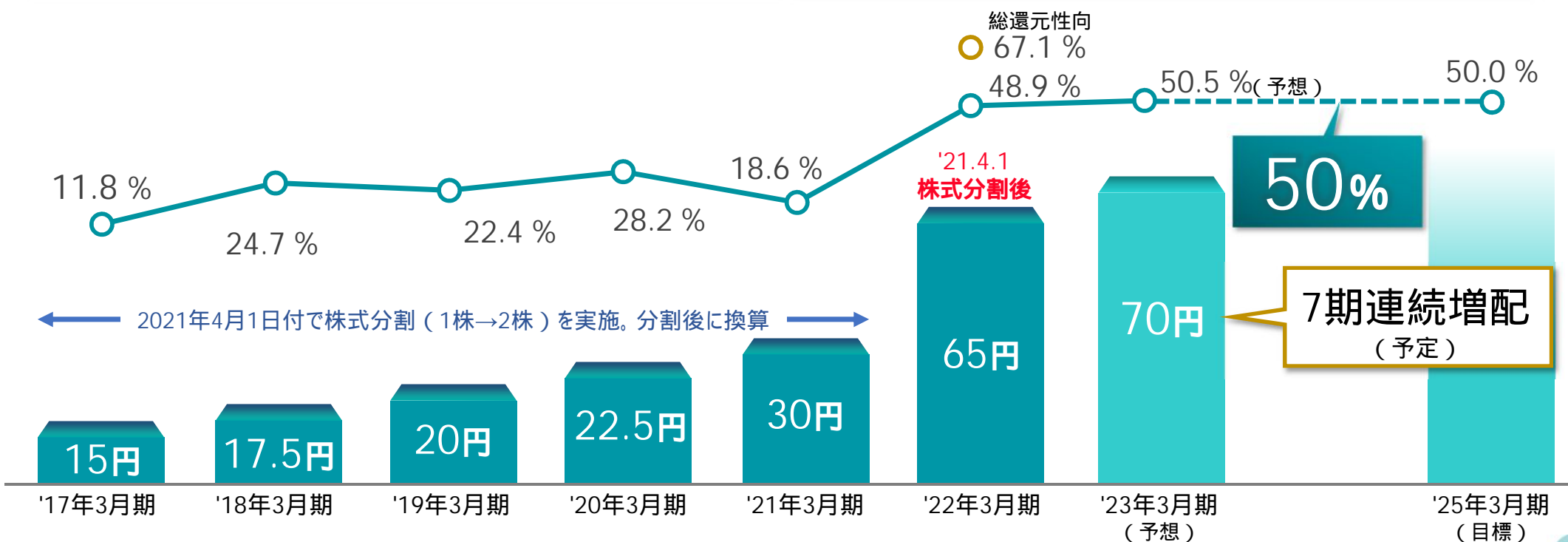
資料提供 INOEL

基本方針

安定的かつ継続的な利益還元を実施する

● 配当性向を50%とする

● 機動的な自己株式取得



【お知らせ】本社オフィス移転



芝公園ファーストビル

移転先

東京都港区芝 3 - 8 - 2
住友不動産芝公園ファーストビル 16階

業務開始日

2022年12月19日

移転目的

「人材の充実と新しい働き方の推進」の一環として
オフィス環境を整えることならびに本社機能の拡充
および業務効率の改善を図るため

參考資料



設立

1931年（昭和6年）10月31日

売上高

1,118億円（2022年3月期 連結）

従業員数

624名（2022年3月末 連結）

代表取締役 社長執行役員

吉永 直明

本社所在地

東京都千代田区九段南二丁目3-1

移転後新住所（2022年12月19日以降）

東京都港区芝 3 - 8 - 2

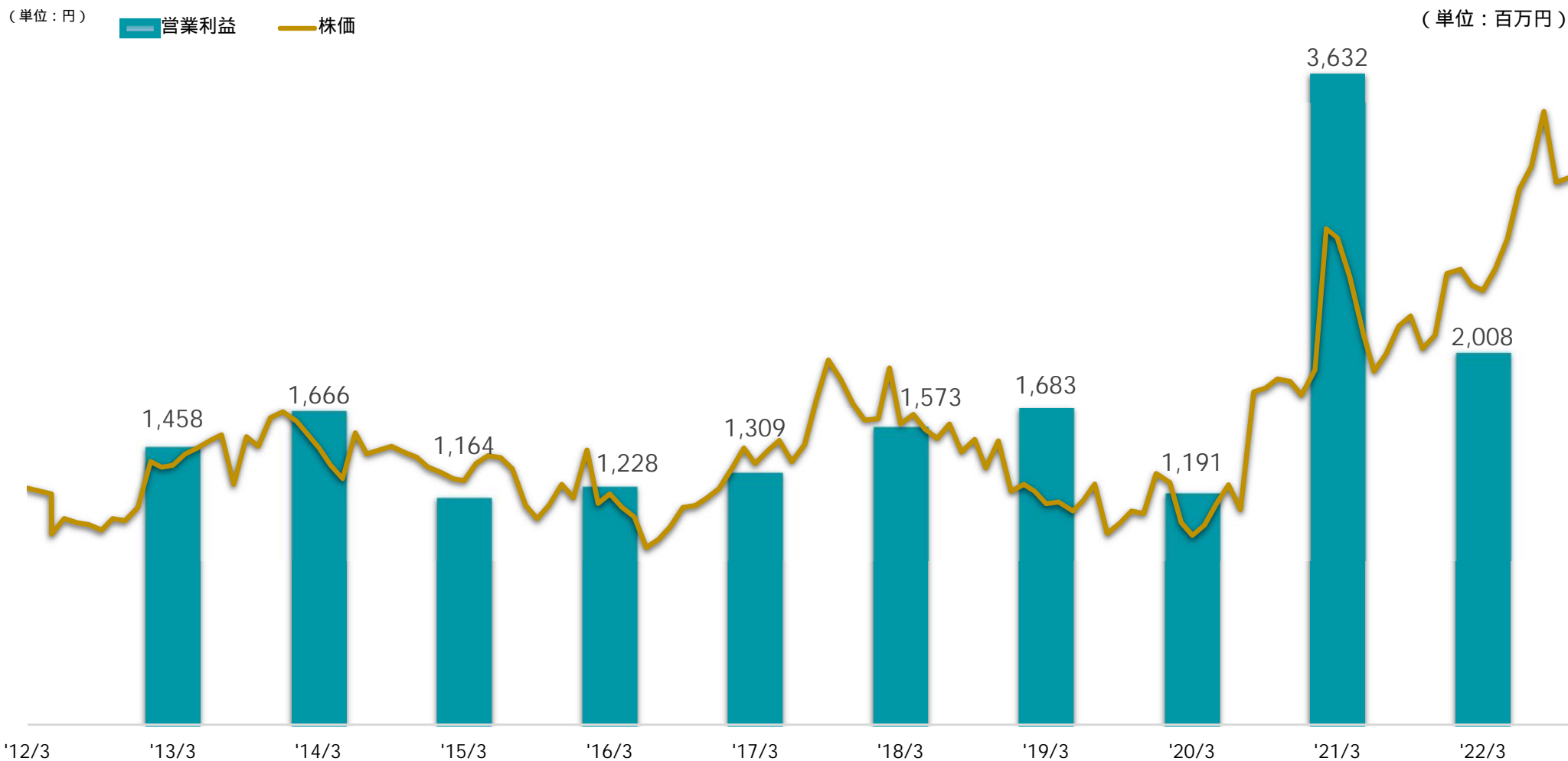
拠点

国内7カ所/海外24カ所

主要取引先

グンゼ株式会社、東レ株式会社、
東洋紡株式会社 他

直近10年間株価と営業利益の推移



グループ会社一覧【国内】

	国内関係会社	事業内容
工業製品	株式会社セントラル科学貿易	理化学機器、医療機器等の販売
	株式会社ジーマーク	花火、家具等の販売
	株式会社オフィス・メイト	不動産の管理および仲介、保険代理店業務
	桜物産株式会社	包装用フィルムや包装資材の加工・販売
繊維	株式会社いずみ	ファンデーションを主とした女性用下着等の企画・製造および販売
	G S I マルロンテックス株式会社	ストッキング・ソックス用他、原糸の撚糸加工および販売
	株式会社クレオスアパレル	婦人衣料品および関連商品の企画・製造および小売・卸売販売
	株式会社G S I アブロス	カジュアルブランドやニット製品等の企画・製造および販売
	日神工業株式会社	各種繊維製品の製造・加工および販売
	但馬合織株式会社	ストッキング・タイツ用他、原糸の撚糸加工および販売
	株式会社ソフィア	各種繊維製品の製造・加工および販売

グループ会社一覧【海外】

海外関係会社		事業内容
GSI Holding Corporation	アメリカ	北米地域における持株会社
GSI Exim America, Inc.	アメリカ	生地、アパレル、半導体関連商材、化成品、ホビー関連商材等の輸出入
GSI Europe-Import+Export GmbH	ドイツ	化成品、機械、その他工業製品の輸出入
GSI Trading Hong Kong Limited	香港	繊維原料、生地、樹脂・フィルム等の輸出入
科立思管理（上海）有限公司	中国	繊維原料、生地、インナー製品、フィルム、化成品、その他工業製品の輸出入、アウターOEM業務等
郡産貿易（深圳）有限公司	中国	繊維原料・製品、フィルム、その他工業製品の輸出入
GSI Creos Korea Co., Ltd.	韓国	繊維関連商材、化成品、樹脂、その他工業製品の輸出入
GSI Creos Brasil Ltda.	ブラジル	化成品、メディカル機器等の輸出入
GSI Creos (Thailand) Co., Ltd.	タイランド	繊維原料、生地、インナー製品、化成品、その他工業製品の輸出入
PT. GSI Creos Indonesia	インドネシア	繊維原料、化成品、その他工業製品の輸出入
GSI Creos Technology (China) Co., Ltd.	中国	半導体関連商材の中国国内販売
北京吉思愛針織有限公司	中国	ソックス等の製造、販売
平湖科立思紡織有限公司	中国	ソックス等用原系や高機能性原系・生地の加工、販売

GSI Creos

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

また、本資料は信頼できると思われる情報にもとづいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。